

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

523-576

事務事業名	地方道路交付金事業(島垣外宮ヶ洞線)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	建設部	課等名	土木課		1	8	2	3	11	6	10,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり				包含する細々目							
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み	関連計画 条例等						
		事業期間	17	年度～	19		年度					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	歩行者と通過車両(対象指標と数値は総括表参照)	歩行者数(人/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了した年度とする	100
		自動車交通量(台/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	歩行者の安全な通行。(成果指標数値は総括表参照)	改良率(%)	18目標	最終目標		
			18実績	19目標	100	↑
23目標			23実績		最終目標達成年度	
18目標			最終目標			
		18実績	19目標		↑	
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・地方道路交付金事業は、基幹的な道路であり、国道、県道に接続する道路を改良する事業であり、国の基準に従い幅員、歩道設置等を決定している。 1級市道島垣外宮ヶ洞線 歩道整備 L=105m W=9.0m H.17～H.19年度	用地買収、物件補償 1式	m	624.68
	18年度の実績			
	19年度計画	工事実施 L=105.0m W=9.0m 歩道整備	施工延長(m)	105m

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	30,800	5,500
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	25,200	4,500
	事業費計(A)	56,000	10,000
人件費	正規職員所要時間	18年度 400	19年度 400
	臨時職員等所要時間	10	10
	人件費計(B)	1,441	1,441
	トータルコストA+B	57,441	11,441

特定財源内訳や補足事項	交付金補助率55% 17年度決算額は17年度繰越額も含む。
-------------	----------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	スムーズな交通の確保(利便性の向上) (対象指標と数値は総括表参照) 便利で安全に移動ができる	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)	現状値	37.6	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
当路線及び、交差する羽場坂中村線には右折レーンが無く物損事故が多く発生し、通学等道路利用者に危険が生じている。付加車線及び、歩道を設置し歩行者の安全、交通の円滑化を図る。	飯田運動公園や水引工場、ドライブイン、トラックターミナル等が建設されトラック、バス等大型車輛が頻繁に通行するようになった。	市民や議会からも改良に対する要望が強く早期完成を願っている。

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		緊急な整備が必要とされている。	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		現在も交通事故が多発している。	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		市道の整備である。	効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)	

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	工事の早期完成を目指し、事業効果の早期発生につとめる。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	